

PROSCUT 紙詰まりの除去手順・E002対処

■エラーの状況

- ・E002は、マシンに内蔵されているカッター刃が閉じたまま、紙を噛みこんでいる状態です。
- ・給紙側からそのまま無理やり紙を引き抜くと、紙が破れ、紙片がカッターユニット部に紙片が残り次に送られてくる紙と干渉しトラブル発生しますので、E002の時は、いきなり紙を抜かないで下さい。
- ・無理に紙を引き抜くことによりS2センサー下部の押上バネが変形し、給紙に支障をきたすことがあります。

■エラー解除手順

- ① 開口部全て閉じた状態で「エラー解除ボタン」押す。
これにより、モーターが逆回転し、閉じているカッターが強制的に開きます。



エラー解除ボタンを押す。

【注意】

- ・必ず開口部を全て閉じてから「エラー解除ボタン」を押してください。
- ・天板や余白箱などが開いている状態では、安全装置が働いてモーターが動きません。



天板が開いている。NG。



天板や余白箱など開口部が閉じていることを確認。OK。

- ② 「エラー解除ボタン」を押し、モーターが回転しカッターが動く音がしたら、天板を開き、給紙ユニット固定ねじを開け、給紙ユニットを開いて下さい。

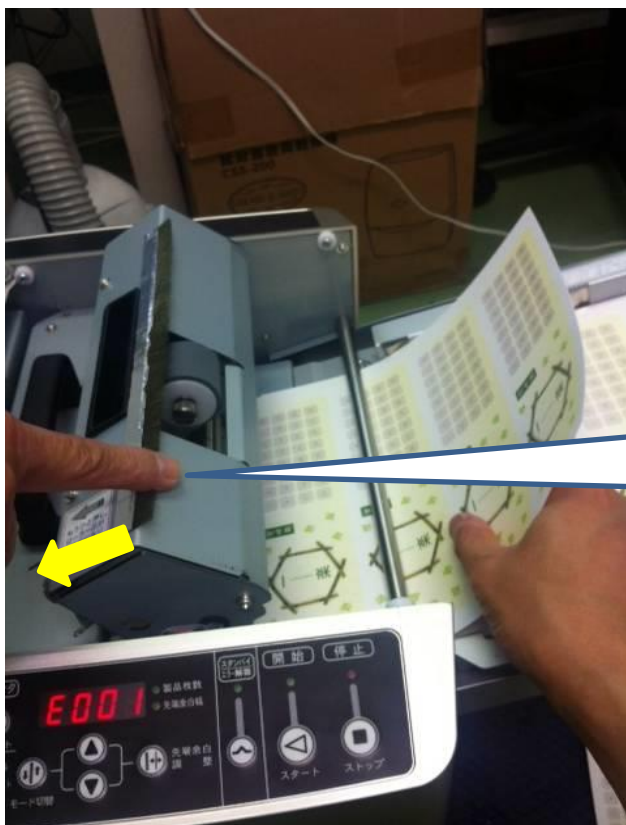


給紙ユニット固定ねじを開く。



給紙ユニットを上を開く。

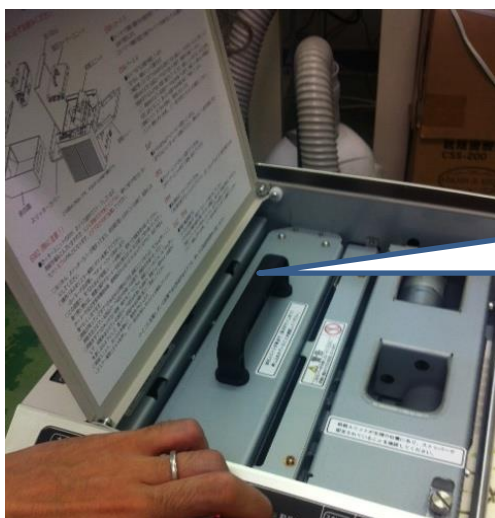
- ③ この状態だと、まだローラーの間に用紙が挟まっています。
ローラーを浮かせるために、この状態から給紙ユニットを指で更にもうひと押しして、
そのまま紙を給紙側から引き抜いて下さい。



給紙ユニットを指で奥側にさらに「もうひと押し」。
押している状態のまま、紙を引き抜きます。

【注意】

- 紙を引き抜くとき、強い引っかかりを感じたら無理に引き抜かず、
加圧ユニットを取り外し、加圧ユニット側から紙を取り除いて下さい。



加圧ユニット。
ハンドルを持ち、上に引き抜いて取り外せます。
下に紙が残っていれば取り除いて下さい。

- ④ 紙を取り除いたら、給紙ユニットを閉じます。
開けた時と逆の手順で、給紙ユニット固定ねじを忘れずしっかりと締めて、天板を閉じて下さい。